

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 4 年 1 月 6 日 (2022.1.6)

【公開番号】特開 2019-163853 (P2019-163853A)  
 【公開日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-039  
 【出願番号】特願 2019-6519 (P2019-6519)  
 【国際特許分類】

**F 1 6 F 15/16 (2006.01)**

**F 1 6 F 15/134 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 F 15/16 M

F 1 6 F 15/134 A

F 1 6 F 15/134 D

【手続補正書】  
 【提出日】令和 3 年 11 月 19 日 (2021.11.19)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 3 4  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 3 4】

出力プレート 3 は、図 3 に示すように、環状の部材であり、本体 3 a と、本体 3 a の外周からさらに外周側に突出する 2 つの第 2 係合部 3 b と、を有している。2 つの第 2 係合部 3 b は径方向に対向する位置に配置されている。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 4 5  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 4 5】

このような構成により、中間用スプリングシート 4 5 は、第 1 ~ 第 4 スプリング 4 1 a , 4 1 b , 4 1 c , 4 1 d の端部を、半径方向及び軸方向に支持している。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 4 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 4 9】

[ シール機構 5 0 ]

環状チャンバ 2 3 に充填された粘性流体が、チャンバ外部に流出しないように、第 1 プレート 2 1 及び第 2 プレート 2 2 と出力プレート 3 ( 具体的には本体 3 a ) との間には、シール機構 5 0 が設けられている。

【手続補正 4】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 5 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

## 【 0 0 5 7 】

特に、環状チャンバ 2 3 内の粘性流体は外周側への力を受けている。したがって、端部用スプリングシート 4 4 及び中間用スプリングシート 4 5 の外周部に形成された連通溝 4 4 1、4 4 2，4 5 1，4 5 2 を介して、粘性流体は円周状に均一に分布しやすくなる。このため、予定されていた粘性流体によるヒステリシストルクを超えた大きいヒステリシストルクが発生するのを抑えることができる。

## 【 手 続 補 正 5 】

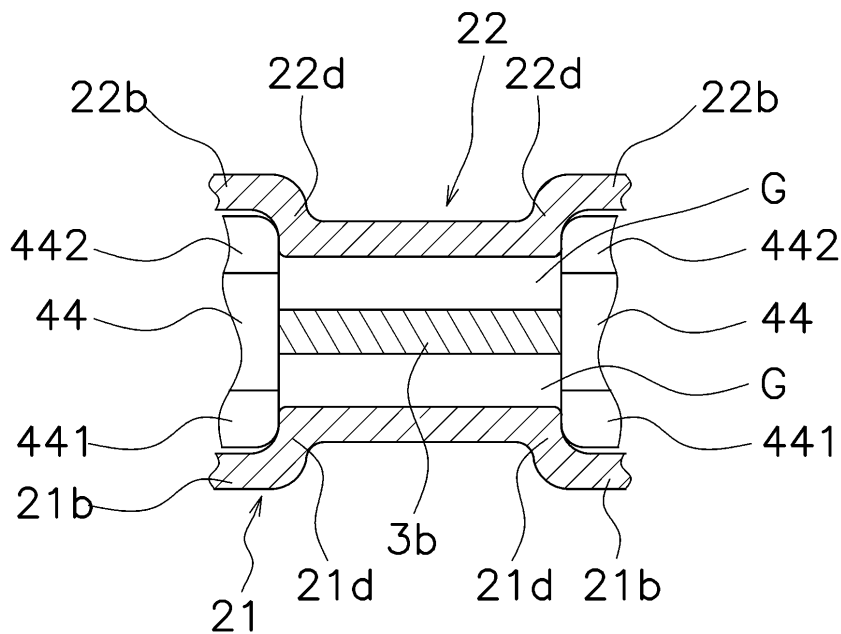
【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 2

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 図 2 】



## 【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【図 5】

